

◆ 地域協議会の状況報告について

① 陶小学校区（設立4年目）

〔地域づくり事業〕

◆住民交流夏まつり【交流促進型】

実施日：8月6日（土） 参加者：1,000人以上

場 所：小牧勤労センター

予算額：430,000円（内自主財源85,000円）

- ・地域の交流や絆を再確認してもらうための恒例行事であり、地域ビジョンにも位置づけている。



◆陶っ子ドッチビー大会【交流促進型】

実施日：10月14日（土） 参加者：約120人

場 所：陶小学校体育館

予算額：72,000円

- ・陶小学校児童のふれあい、仲間づくりの場を地域でつくろうという意見から、スポーツ振興会の協力のもと、今年からスタートした。
- ・低学年・高学年の二つのグループに分かれて、汗を流し、学年を超えた交流の場となった。

◆陶っ子もちつき大会【交流促進型】

実施日：12月17日（日） 参加者：約400人

場 所：JA小牧東部果実撰果場

予算額：160,000円

- ・昨年に引き続き、陶小学校の児童をはじめ陶小学校区内の全ての子どもたちと地域住民のふれあいの場づくりのため、今年度も継続して開催した。
- ・もちつきのほか、紙飛行機や紙鉄砲づくりやおやじの会による豚汁の振る舞いを行った。





●広域防災訓練【課題解決型】

実施日：2月11日（日） 参加者：約250人

場 所：小牧勤労センター 予算額：145,000円

- ・昨年に引き続き、身の回りにあるものを活用して避難所スペースをつくる「避難所体験」や「豚汁の炊き出しコーナー」等の実際の避難を想定した体験型訓練とした。
- ・副会長が自らの震災ボランティアの体験を語り、参加者は熱心に聞き入っていた。

〔その他〕

●包括サロンの開催（サロン交流会）

【課題解決型】

実施日：7月17日（月・祝） 参加者：約50人

場 所：小牧勤労センター

- ・それぞれの区の会館で開催しているサロン関係者に声をかけ、陶地区の合同サロンを開催した。
- ・それぞれのサロンで何をやっているのか、どんなことをやったら参加者が増えるのか、など様々な意見が出され、活発な意見交換をすることができた。



地区内のサロンの連携、地域の助け合い活動の担い手発掘



◆桃の花 花火大会への協賛

- ・4月29日（土）に陶総合運動場で開催された「桃の花 花火大会」（主催：東部花火の会）へ協賛し、地域協議会として花火大会の支援を行った。
- ・今年で5回目を迎え、新聞や各種地域情報誌等のメディアで取り上げられる回数も増え、協議会の認知度アップにも繋がった。

② 篠岡小学校区（設立3年目）

〔地域づくり事業〕

●学区防災訓練【課題解決型】

実施日：10月15日（日） 参加者：約300人

場 所：篠岡小学校 予算額：246,000円

- ・「応急処置」、「傷病者搬送」、「自衛隊活動紹介/展示」の3班に分かれ、順番に体験していくことで、スムーズに実施することができた。
- ・今年度は「自主防災を考えましょう」をテーマに、災害時の備えや避難所運営のあり方について、防災部会長が講師となって、講話を行った。
- ・訓練後は炊き出しカレーを試食し、参加者の交流にも繋がった。



◆しのっ子クリスマス会【交流促進型】

実施日：12月16日（土） 参加者：約500人

場 所：篠岡小学校 予算額：221,000円

- ・今年度は小牧工業高校マーチングバンド部による生演奏と楽しく科学を学べる「サイエンスショー」の2部構成で開催した。
- ・マーチングバンドでは高校生のダイナミックな演奏に沸き、サイエンスショーではジャイロ効果を利用した不思議な工作などで、楽しみながら学ぶことができた。

◆篠岡学区もちつき大会【交流促進型】

実施日：12月16日（土） 参加者：約500人

場 所：篠岡小学校 予算額：83,000円

- ・昨年から引き続き、クリスマス会に併せてもちつき大会を行った。
- ・はじめは上手につけない子も周りの大人やクリスマス会から駆けつけてくれた小牧工業高校の学生の助けもあり、楽しみながら、住民同士の絆を深めることができた。



〔その他〕

●福祉部会視察研修

（視察先：名古屋市西区浮野学区）

実施日：12月6日（水） 参加者：15名

場 所：浮野学区コミュニティセンター

- ・次年度より実施予定の「しのおか おたすけ隊」の立ち上げに向けて、地域住民による支え合い活動において、先進的な取り組みをしている名古屋市西区浮野学区を視察した。
- ・体験談を交えて、具体的なお話をいただき、参加した福祉部会の部会員と活発な意見交換を行うことができた。
- ・「しのおか おたすけ隊」は平成30年6月の発足を目指して、鋭意検討中



地域の高齢者の困りごと支援に向けた検討

③ 小牧原小学校区（設立2年目）

〔地域づくり事業〕

●学区防災訓練【課題解決型】

実施日：11月25日（土） 参加者：約300人

場 所：小牧原小学校 予算額：280,000円

- ・2回目となる今年度は、協議会役員のほか各区自主防災会関係者を中心メンバーとした「防災部会」が防災訓練の企画、運営を行った。
- ・「AED訓練」や「仮設トイレの設営訓練」のほか、豚汁、アルファ米を利用した「炊出し訓練」を実施した。



〔その他〕



●住民主体による高齢者生活支援活動に関する勉強会（愛知県地域アドバイザー派遣事業）

実施日：8月8日（火）、9月12日（火）

参加者：延べ約30人 場 所：小牧原会館

- ・三重県名張市で住民主体による高齢者の生活支援活動に取り組む団体関係者の方を講師として招き、2回の連続講座を実施した。
- ・高齢者支援プロジェクトチームを結成し、日常生活における困りごと支援として、どんな活動が必要か、どんな活動ができるのかなどについて鋭意検討中

地域の高齢者の困りごと支援に向けた検討

●あいさつ運動

実施時期：毎月第2火曜日

参加者：延べ約30人 場 所：小牧原小学校

- ・交流プロジェクトチームを結成し、まずは気軽に簡単な活動からやってみようということで、顔の見える関係づくりのきっかけとして、1月からあいさつ運動をスタートした。
- ・毎月第2火曜日の朝、参加できる人が小牧原小学校の校門（2箇所）に集まり、子ども達にあいさつと声かけをしている。



顔の見える関係づくり、声かけのできる地域づくりのきっかけ

④ 大城小学校区（設立1年目）

〔地域づくり事業〕

◆設立記念コンサート【交流促進型】

実施日：11月26日（日） 参加者：約300人
場 所：大城小学校 予算額：196,000円

- ・ひとりでも多くの方に地域協議会の趣旨・目的や役割、想いなどについて知ってもらうためのきっかけづくりの交流事業として開催した。
- ・ストロー奏者の神谷徹氏を招き、子どもから高齢者まで気軽に楽しめるコンサートとした。
- ・来年以降は住民参加型のコンサートにし、これをきっかけに自分が住む地域に関心を持ち、地域活動の参加者を増やすことを目指す。



●学区防災訓練【課題解決型】

実施日：12月16日（土） 参加者：約250人
場 所：大城小学校 予算額：200,000円

- ・“避難所運営を学ぶ”をテーマとし、消火器取扱い訓練や搬送訓練などの基礎的なメニューのほか、南海トラフ地震の映像鑑賞、危機管理課職員による避難所運営マニュアルの説明などを行った。
- ・『防災リーダー会』による家具固定、簡易トイレ等の防災啓発ブースもあり、多くの参加者が体験することができた。

〔その他〕

●地域福祉ミーティングの開催

実施日：2月3日（土） 参加者：20人
場 所：大草会館

- ・社会福祉協議会、地域包括ケア推進課と連携し、『災害時に支援が必要な人をどうやって地域で支援していくのか。』をテーマに座談会を開催した。
- ・地域の民生児童委員、自主防災会担当、区長に参加してもらい、有意義な意見交換となった。



災害弱者の支援を考えるためのミーティング